



オラン・ヘレム墓は、モンゴルの首都ウランバートル西方約220km、ボルガン県バヤンノール郡にあります。2011年、モンゴル、カザフスタン共同で発掘調査がおこなわれました。未盗掘であったこの7世紀の墓から、多数の副葬品ばかりでなく、モンゴル初となる極彩色壁画が発見されました。壁画には、高松塚古墳、キトラ古墳でみられる四神の青龍、白虎などが描かれていたことから、日本でも注目を集めました。

#### 壁画の復原模写

オラン・ヘレム墓は調査後、保護のため密閉されましたが、大量のカビが発生、壁画は存亡の危機に直面しました。そのような中、京都にある文化財修復会社の彩色設計が無償でこの貴重な壁画の復原模写をおこないました。2013・14年に数回、現地壁画トレースと撮影をおこない、これを基に2015年に完成させました。

#### オラン・ヘレム墓の概要

墳丘は直径約35m、高さ約3.5mの円形で、墓室はその地下約7.5mに築かれます。墓入口から墓室までの全長は約60mに及びます。入口は墳丘南方約20mに位置し、そこから北向きに墓道が掘られます。さらに水平方向の地下通路が約43m続き、墓室へ到達します。地下通路部分は4本の天井（竪坑）とこれらを結ぶ過道、墓室へ通じる甬道からなります。天井はいずれも貫通する明天井で、最も奥の天井4両側には壁龕が穿たれます。墓室の規模は南北3.1m、東西3.4mです。被葬者は火葬されていました。

出土遺物は、冠帽、ビザンティンやササン朝ペルシアの金貨37枚、銀貨4枚、金製留金、耳飾、指輪、腕輪、鐙・銜などの馬具、青銅製の海老鉞、人形・鳥・畏獣の木製像、陶製の鎮墓獣・羊・鳥・豚・駱駝像、90体もの人物俑、18体の騎馬人物俑など多種多様です。

#### 壁画

壁画は、墓道、天井1～4の両側壁、天井1・2・4の北壁、墓室壁面に描かれます。墓道の東西壁にはそれぞれ青龍と白虎が頭部を入口側、南向きに、その墓室側にそれぞれ3人の官人、1人の宦官、列戟が描かれます。過道入口にあたる墓道北壁には楼門図が描かれ、天井1両側壁に牽馬図、天井2両側壁に人物図、天井3東壁に狩獵図、天井4両壁には壁龕を挟んで人物図（宦官）が描かれます。天井3を除く各天井北壁には、蓮華（天井1）、畏獣（同2）、楼門（同4）が描かれ、墓室には、あまり平滑ではない壁面に樹下人物図が配されます。

オラン・ヘレム墓の被葬者はわかっていませんが、その規模、副葬品、壁画図像の特徴などから、都督（軍司令官）クラスの高位の人物が葬られたと推定されます。

今回の展示では、写真、精密な復原模写などを通じて、この貴重な壁画を紹介します。

#### 【協力者・協力期間】

小野村勇人、北村 亮、清水奈都紀、久安敬三、平岡智子、牟田口章人、山口欧志、山本真由美、朝日放送株式会社、帝塚山大学、モンゴル国立文化遺産センター、有限会社 彩色設計（五十音順、敬称略）

#### 【展示担当・リーフレット執筆】吉村和昭

【展示・リーフレット作成協力】木下亘・坂靖・小栗明彦・鶴見泰寿・重見泰・北井利幸・天野歩・阪本江里・安川真貴・垣内喜久子・西村由紀子

#### 特別陳列

#### 「モンゴル草原7世紀の極彩色壁画 オラン・ヘレム墓」

発行 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2  
TEL (0744) 24-1185 / FAX (0744) 24-1355  
URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>  
発行日 平成28(2016)年8月20日  
印刷 橋本印刷  
〒639-2155 奈良県葛城市竹内 365 番地



平成28年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

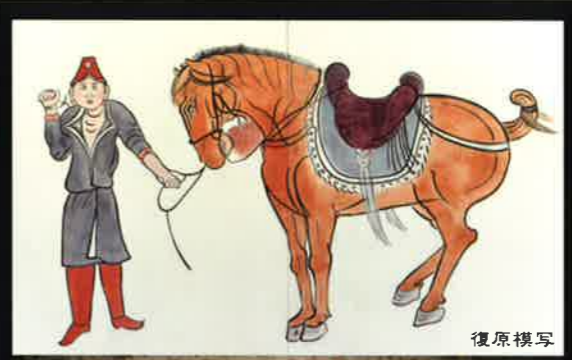
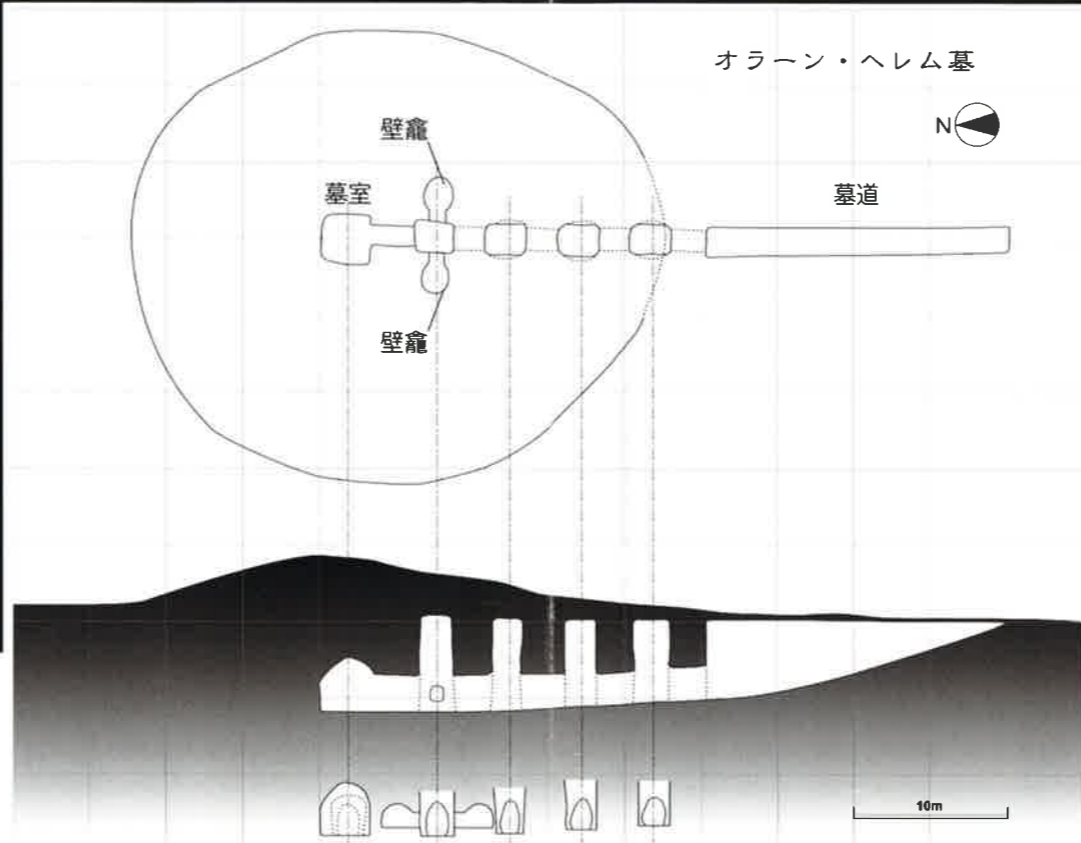
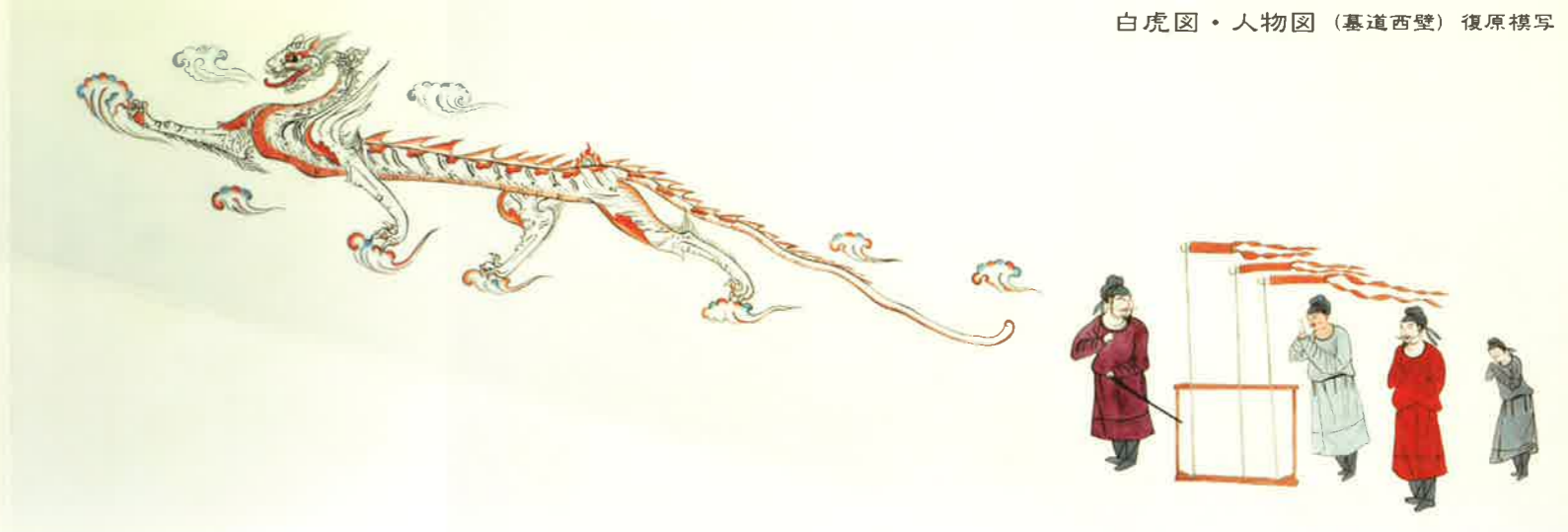
#### 特別陳列

## モンゴル草原7世紀の極彩色壁画 オラン・ヘレム墓

平成28(2016)年8月20日(土)～10月2日(日)

主催：奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
後援：モンゴル国立文化遺産センター・帝塚山大学  
朝日新聞社・朝日放送株式会社  
特別協力：有限会社 彩色設計





牽馬圖 (天井1東壁) 復原模写

人物圖 (天井2西・東壁) 復原模写

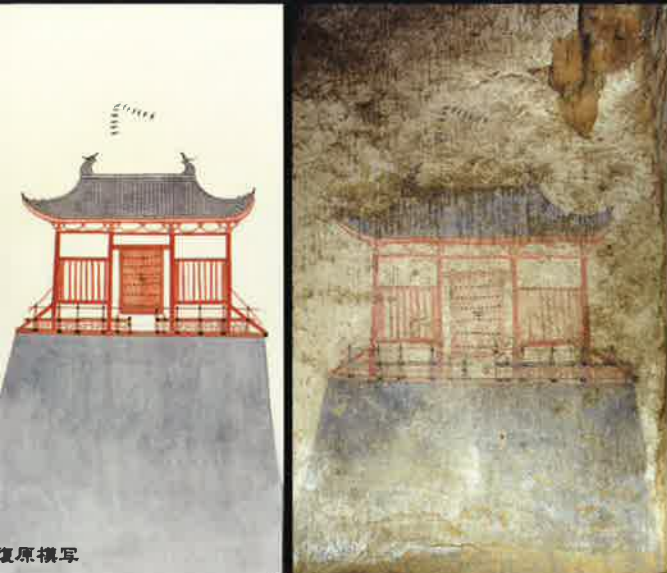
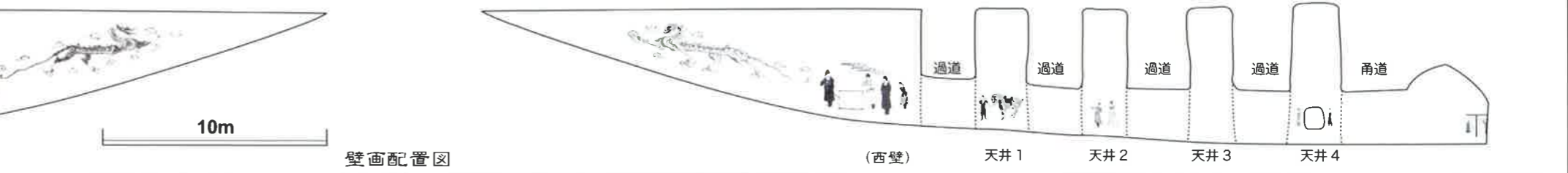
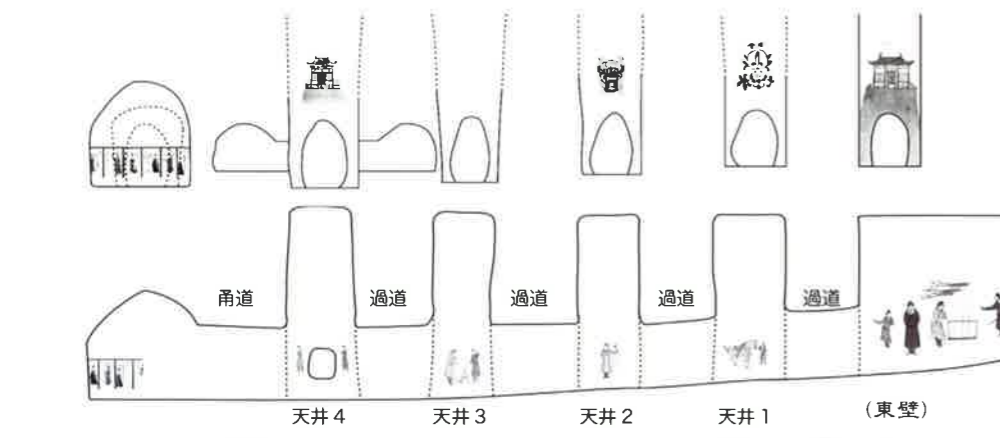
牽馬圖 (天井1西壁) 復原模写

官人圖 (墓道西壁)



人物圖 (官官圖)・狩獵圖 (天井4西・東壁、天井3東壁) 復原模写

樓門圖・長獸圖・蓮華圖 (天井4、天井2、天井1) 復原模写



← 樓門圖 (墓道北壁)



→ 樹下人物圖 (墓室) 復原模写